

大野城市 議会だより

2026 令和8年
No.174
発行 大野城市議会
編集 広報委員会
令和8年8月15日

6
6月定例会



大野城市議会
ホームページ



今年3月に完成した
西鉄高架下交流広場
「わいわいぽけっと」

元気に楽しく遊ぶ、
地域の‘さくらのつぼみ’
「桜並木保育園」の園児達

西鉄春日原駅から桜並木駅間で撮影

主な記事

- 6月定例会 P2～3
- 委員会レポート P4～5
- 一般質問 P6～11

- 特別委員会（給食）..... P12
- 全国市議会議長会表彰受賞報告 P13
- 議場見学会予告 P13

市民とともに歩む議会だより

次号175号
令和8年
11月15日発行

あなたの写真で
議会だよりの紙面を
飾ってみませんか？
（締切り 9月18日）

6 月定例会

令和8年6月定例会を6月1日（月）から6月19日（金）まで開催
34の案件を審議し、全ての案件を可決、同意、承認しました。
審議結果の採決の様様は大野城市議会ホームページ「令和8年第3回6月定例会」
（右の二次元コード）から映像を見ることができます。



太字の議案は委員会レポートに内容を掲載しています。

審議結果一覧

令和8年6月定例会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会	議決月日
第37号議案	専決処分した事件の承認について（大野城市税条例の一部を改正する条例）	全会一致承認	—	R8.6.4
第38号議案	専決処分した事件の承認について（大野城市都市計画税条例の一部を改正する条例）	//	—	R8.6.4
第39号議案	専決処分した事件の承認について（大野城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	//	—	R8.6.4
第40号議案	大野城心のふるさと館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決	総務政策委員会	R8.6.19
第41号議案	大野城市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//	R8.6.19
第42号議案	大野城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例及び大野城市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	//	福祉教育委員会	R8.6.19
第43号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	全会一致同意	—	R8.6.4
第44号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	—	R8.6.4
第45号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	—	R8.6.4
第46号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	—	R8.6.4
第47号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	—	R8.6.4
第48号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	—	R8.6.4
第49号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	—	R8.6.4
第50号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	—	R8.6.4
第51号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	—	R8.6.4
第52号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	—	R8.6.4
第53号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	—	R8.6.4
第54号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	—	R8.6.4
第55号議案	令和8年度大野城市一般会計補正予算（第2号）について	全会一致可決	予算委員会	R8.6.19
第56号議案	令和8年度大野城市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	//	//	R8.6.19
第57号議案	令和8年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	//	//	R8.6.19
報告第1号	令和7年度大野城市一般会計予算繰越計算書について	報告	—	R8.6.4
報告第2号	令和7年度大野城市水道事業会計予算繰越計算書について	//	—	R8.6.4
報告第3号	令和7年度大野城市下水道事業会計予算繰越計算書について	//	—	R8.6.4
報告第4号	令和8年度大野城市土地開発公社の予算について	//	—	R8.6.4
報告第5号	令和8年度公益財団法人大野城まどかびあの予算について	//	—	R8.6.4
報告第6号	令和8年度公益財団法人おおのじょう緑のトラスト協会の予算について	//	—	R8.6.4
報告第7号	令和8年度公益財団法人大野城市スポーツ協会の予算について	//	—	R8.6.4
報告第8号	専決処分の報告について（街路樹との接触による車両損傷事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について）	//	—	R8.6.4
意見書案第1号	中東地域の緊張緩和と国民生活及び地域経済の安定に向けた対策強化を求める意見書の提出について	全会一致可決	—	R8.6.19
意見書案第2号	皇室の伝統に基づく安定的皇位継承を確保するための法整備の早期実現を求める意見書の提出について	賛成少数否決 （賛成9・反対10）	—	R8.6.19
	閉会中における所管事務調査等の通知について	全会一致承認	—	R8.6.19
	議員の派遣について	//	—	R8.6.19
中間報告	今後の学校給食のあり方に関する調査特別委員会	報告	—	R8.6.19

賛否の分かれた議案

令和8年第3回6月定例会 審議結果

会派名	自民大野城					公明党					未来フォーラム			市民クラブ	自民まどか	自民御笠				
議員氏名	山上 高昭	平井 信太郎	平田 不二香	岡部 かおり	原田 真光	大塚 みどり	井上 正則	河村 康之	神田 徳良	松崎 百合子	永利 恭子	河野 敏生	松崎 正和	福澤 信光	森 和也	井福 大昌	関井 利夫	中村 真一	中村 慎一朗	松田 美由紀
意見書案第2号	○	－	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	●

(○：賛成、●：反対、退：退席、－：議長は表決に加わらないため)

— 陳情関係 — (全議員に写しを配布)

陳情第3号	公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情
-------	---------------------------------------

議会の動き

5月 1日 会派代表者会議
11日～12日 総務政策委員会視察
 都市経済委員会視察
12日～13日 福祉教育委員会視察
18日 会派代表者会議
 今後の学校給食のあり方に関する
 調査特別委員会
22日 議会運営委員会
27日 全国市議会議長会(東京都)
6月 1日 本会議(1日目)
 全員協議会
 予算委員会
 会派代表者会議
 今後の学校給食のあり方に関する
 調査特別委員会
 広報委員会

4日 本会議(2日目)
5日 総務政策委員会
 福祉教育委員会
9日 予算委員会
15日 本会議(3日目)
16日 本会議(4日目)
 会派代表者会議
19日 議会運営委員会
 本会議(5日目)
 全員協議会
 今後の学校給食のあり方に関する
 調査特別委員会
7月 9日 広報委員会
17日 今後の学校給食のあり方に関する
 調査特別委員会
 広報委員会
28日 模擬議会
30日 広報委員会行政視察



次回開催予定 令和8年9月定例会(予定)

9月 1日(火) 10:00～ 本会議 提案理由説明
4日(金) 10:00～ 本会議 質疑・付託
7日(月) 10:00～ 総務政策委員会
13:30～ 福祉教育委員会
8日(火) 10:00～ 都市経済委員会
9日(水) 10:00～ 予算委員会
10日(木)～14日(月) 9:00～ 決算特別委員会
16日(水)～17日(木) 9:30～ 本会議 一般質問
25日(金) 10:00～ 本会議 報告・討論・採決

議会だより173号(5月15日号)に掲載しました「次回開催予定」において、曜日の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

6月定例会 本会議(一般質問)の日程
 誤) 15(水)～16(木)
 正) 15(月)～16(火)

視察来庁

★ 行政改革の取組みについて
 (5月19日 山口県岩国市)

★ あんしんまどか(高齢者ICT見守り)事業について
 (6月26日 東京都府中市)

★ 防災対策について
 (7月7日 東京都八丈町)



★ 母子健康手帳アプリ
 「おおのじょう子育てナビ」について
 (7月15日 千葉県習志野市)

★ 地域コミュニティ
 (都市型コミュニティ政策の成功例)について
 (7月22日 京都府宇治市)

★ ゼロカーボンシティ実現のための取組について
 (7月30日 群馬県高崎市)

心のふるさと館、開館時間を短縮へ

総務政策委員会

第40号議案

大野城心のふるさと館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について



令和7年3月に登録博物館となったことを契機に、施設名称を新たに「おおのじょうシティミュージアム」とし、開館当初から親しまれている「大野城心のふるさと館」の名称を愛称とする。また、令和9年4月より、開館時間を「午前9時～午後7時まで」から「午前9時半～午後5時まで」に変更する。そして、館内の講座学習室等の施設を、小中学校、児童生徒などが使用する際に、使用料を免除することができる規定を設ける。

問 開館時間を短縮する理由は

答 午後5時以降の来館者数が少なく、運営の効率化を図っていくためである。

問 削減されるコストは

答 全体で年間1000万円程度になると試算している。

問 年間の来館者数にはどのぐらい影響があるのか

答 午後5時以降の実質の来館者数は、令和7年度は約3000人であり、同年間の来館者数が約10万2000人のため、約3%減となる見込みである。

問 登録博物館になったことでメリットはあるのか

答 登録博物館になり、博物館と分かる名称を新たに設定することによって、対外的な信頼性が高まることが一番大きなメリットであると考えている。また、文化庁関連の博物館に関する補助金の優遇が今後増えてくると考えている。

インクルーシブ保育の推進を図る

福祉教育委員会

第42号議案

大野城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例及び大野城市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について



児童福祉法等の改正に伴い大きく3つの見直しを行った。

1点目は、これまで国家戦略特区でのみ実施できていた満3歳以上を対象とする小規模保育事業が全国で実施可能となったことから、その基準を定めた。

2点目は、障がいのある子どもや医療的ケア児への専門的支援やインクルージョン推進の

ため、保育士のみなし特例の対象を拡大し、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等を新たに追加した。

3点目は、令和6年度に20対1から15対1へ見直された3歳児の年齢別配置基準について、全国的に改善が進んだため、経過措置期間を令和10年3月31日までとした。

問 この改正による、市や利用者への直接的な影響やメリットはあるか

答 3歳以上の受入れについては既存の保育所等で充足しているため、待機児童解消や小規模保育事業所に大きな影響はない。一方、理学療法士等のみなし特例により、障がいのある子どもや医療的ケア児を受け入れやすくなるというメリットがある。

一般会計に約9800万円を追加

予算委員会

第55号議案

令和8年度大野城市一般会計補正予算
(第2号)について



JR水城駅のバリアフリー整備事業や原油価格高騰に伴う指定ゴミ袋の作製費用などを追加する。

問 JR水城駅のバリアフリー整備事業の概要は

答 当初、国・鉄道事業者・市の3者でそれぞれ3分の1を負担することとなっていたが、今年度の国の補助が不採択となったことから、鉄道事業者と市の2者でそれぞれ2分の1を負担して事業を行うため、668万4000円を増額する。総事業費は、4010万円で、令和8年度から9年度の2か年で設計し、令和10年度から11年度で工事を行う。

問 市指定ゴミ袋は値上げされるのか。またゴミ袋が不足することはないのか

答 値上げは当面考えていない。前倒して製造し、不足が無いよう進めている。

第57号議案

令和8年度大野城市後期高齢者医療
特別会計補正予算(第1号)について



後期高齢者医療のマイナ保険証利用者に送付する「資格情報のお知らせ」や、未利用者などに送付する「資格確認書」の郵送料を追加する。

問 「資格確認書」と「資格情報のお知らせ」を送付する対象者数は

答 「資格確認書」の対象者が10800人。「資格情報のお知らせ」の対象者が2700人である。

予算委員紹介

予算委員会委員が選任されました。

委員長 中村 真一 副委員長 永利 恭子

委員

松田 美由紀
神田 徳良

関井 利夫
平田 不二香

福澤 信光
岡部 かおり

河村 康之
原田 真光

議場のバリアフリー化工事をしました!

車いす等でも演壇に登壇できるよう、スロープを設置するなどの改修をしました。



演壇とは…?

演壇は、議場の中央、議長席の前にある議員や市長が発言する場所です。



～これからの大野城を問う～ 一般質問

注：★がついている内容を掲載しています。

各議員の
タイトルにある
二次元コードから
映像を見ることが
できます。



6月定例会

委員会レポート

一般質問

特別委員会（給食）

全国市議会議長会表彰受賞報告

議場見学会予告

氏 名	件 名
平 田 不二香	★安心して産み育てることができる環境整備について
森 和 也	★災害対策について ・シティプロモーションについて
岡 部 かおり	★保育現場における保育士の負担軽減と環境整備について ・まどかパーク多目的グラウンドの使用時間拡大及び周辺エリアの一体的活性化について
大 塚 みどり	★本市の地域の担い手不足解消に向けた取組について
永 利 恭 子	★水道水のPFAS(有機フッ素化合物)検査について ・ウォーターPPPについて ・企業版ふるさと納税について ・学校校舎の修繕・改修について
松 崎 百合子	★ひとり親家庭の子どもの養育費確保支援について ・小中学校トイレの衛生環境、およびユニバーサル化について ・太陽光発電の推進、脱炭素・持続可能なまちづくりについて ・地域猫活動支援について
河 野 敏 生	★子どもの体験格差について ・よりよい特別支援教育のために
原 田 真 光	★教育及び子育て施策について ・大野城心のふるさと館について ・自主財源を得るための施策について
井 福 大 昌	★高架下及び駅周辺の整備の進捗
中 村 慎一郎	・市内公共施設運営の検証とビジョンについて ★高齢者支援施策について



映像はこちら

若い世代にプレコンの周知と推進を！

ひらた ふじか
平 田 不二香



問 国が推進するプレコンセプションケア(プレコン)をどう認識し、位置付けているか

答 プレコンとは妊娠前からの体やこころの健康管理と準備のことを示す。近年では妊娠を計画する段階に限らず、思春期などの若い世代を対象とした幅広い取り組みと捉えられている。プレコンを推進する上では、リプロダクティブ・ヘルス・ライツ(自ら意思決定できる権利)と併せて啓発することが重要である。

問 SNS等では妊娠、出産、不妊、ワクチンなどについて真偽が定かでない情報も多い。市民が信頼できる情報提供を強化できないか

答 令和5年度から母子健康手帳アプリを導入し、情報発信の強化に努めている。今後とも、緊急避妊薬に関する情報などの新たな情報も含め、母子保健に関して市民が自ら判断し、選択できるように正確な情報提供の強化に努める。

問 無痛分娩に関して、経済的な負担が選択の制約になっていないか実態を把握し、必要な環境整備、負担軽減策を検討できないか

答 無痛分娩は、妊婦の負担を軽減する上で、非常に効果的な方法であり、選択する人が増えていることも把握している。選択しやすい環境を整えることは、出産における選択肢を広げ、出産への不安軽減にもつながる。無痛分娩の選択に対する支援の検討に向けて、妊産婦の出産状況、無痛分娩に関するニーズや経済的な負担感、医療機関における安全体制などについて調査を進める。





映像はこちら

災害時における多様な避難所生活への備え

もり 森 かず や 和 也



問 ペットとの同行避難に関するマニュアルが整備されているか。整備されている場合、どのような内容が記されているか

答 令和5年に大野城市ペット同行避難運営マニュアルを策定している。このマニュアルは、市が平常時に備えるべきことや災害時の行動指針を示すとともに、避難の方法や避難所などにおけるペットの受入れ手順、飼い主の方に守っていただくルールなどについて定めている。

問 車中泊避難のマニュアルや手引を策定しているか

答 車中泊避難に対する支援体制については、現在マニュアルの作成等を進めており、今年度中の策定を目指している。

問 避難所運営訓練のスタートとして、避難所生活を体験する「大野城市子ども防災キャンプ」を市の事業として支援してもらいたいが、堤市長の考えは

答 「大野城市子ども防災キャンプ」は、子どもたちが避難所生活を体験し、自分の身は自分で守ることを学ぶだけではなく、避難所で自らの役割を考える共助の意識を醸成する上で非常に有効な取組であると認識しており、出前講座や自主防災組織が実施している訓練への支援と同様に職員の派遣や備蓄品の貸出しなどの支援を行いたい。



ペット同伴、車中泊避難の一例



映像はこちら

保育士が保育に専念できる環境整備を

おか べ 岡 部 か お り



問 保育士は本来業務である「子どもたちの育ちを支える保育」に加え、保護者対応、家庭課題への支援、発達相談、清掃や雑務など、非常に多岐にわたる業務を担っている。離職理由の上位にも、業務量の多さや保護者対応の負担が挙げられているが、市は認識しているか

答 通常の保育実務に加え、保護者対応、保育日誌や制作物など、多岐にわたる負担があると認識しており、業務負担軽減の取組が必要であると考えている。

問 保育士の負担軽減、離職防止と保育の質の確保や就労支援の観点から、清掃業務について外部委託を進める考えはあるか

答 保育業務に専念できる環境を構築することは、保育士の負担軽減や保育の質の向上につながると考える。現場の状況を踏まえ、外部委託を含め、公立保育所の清掃の在り方について今後検討していく。

問 保育ソーシャルワーカー等の専門職による相談支援体制の導入を検討できないか、市長の考えは

答 保育現場では、子どもの発達や家庭の状況に関する相談や対応が増加する中で、保育士だけでは対応が難しい事例も見られる。保育ソーシャルワーカー等の専門職が関わることは、子育て家庭への早期の相談支援や保育士の負担軽減という点から、有効な取組であると考えている。公立保育所等への保育ソーシャルワーカーの導入について、他自治体の取組内容や成果、運用方法などの事例を踏まえ検討していく。





映像はこちら

安心して踏み出す女性の一步、地域活性化へ

おか つか

大塚 みどり



問 実質的な意思決定を担う「区長、副区長、会計（執行部）」の女性の人数や選出方法は

答 執行部84名のうち、女性は23名（約27%）である。選出方法は区により異なるが、評議員等の推薦等を経て総会で承認されるなどの例がある。

問 執行部に女性が一人もいない区は

答 全28区のうち7区である。

問 女性区長が3名という現状への認識は

答 前年より1名増えたが依然として少なく、女性を含む多様な視点を持つ方の地域参画を促す環境整備を進める必要がある。

問 女性区長3名の経歴は

答 全員が副区長経験者である。

問 区長推薦の責任をもつ評議員の男女比の実態は

答 女性比率は30.8%で、女性ゼロの区は4箇所である。

問 兵庫県小野市の「育成塾」のように、女性が地域リーダーとしてのスキルを段階的・体系的に学べる仕組みを整備すべきでは

答 地域活動への参画について、出前講座等で啓発を行っているが、今後は本市にふさわしい人材育成の仕組みを検討し、実効性のある施策を進める。また、男女問わず地域で活動されている方や将来の活躍が期待される方に、男女共同参画に関する講座への参加を促していく。

問 那珂川市のように数値目標を掲げた「きっかけ作り」を導入すべきではないか、市長の考えは

答 先進事例を詳細に調査し、本市の実情に即した取組を検討する。意欲ある女性が安心して一步を踏み出せる環境を整え、地域活性化に努める。



映像はこちら

水道水のPFAS検査義務化

なが とし

永 利

きょう こ



問 PFASとは

答 人工的有機フッ素化合物の総称。繊維、紙、プラスチックなどの表面処理剤や、石油類火災などの泡消火薬剤、半導体原料など、幅広い用途で使用されている。

問 義務化の理由は。また、健康への影響は

答 PFOSとPFOAは、PFASの中でも分解されにくく、環境や人の健康、動植物の生育等に影響を及ぼす可能性があるため。また、人の健康に対しては、発がん性やコレステロール値の上昇、免疫系などへの影響についての可能性は否定できず、さらなる知見の集積が必要とされている。

問 国の基準値は、PFOSとPFOAの合算で1リットル当たり50ナノグラム以下だが、本市の数値は

答 過去全ての水道水の水質検査において検査機関が検出できる最低値（1リットル当たり5ナノグラム）よりも低いため、数値として測定できない状態である。

問 福岡市南区の飲用井戸14か所で基準値を超えるPFASが検出された。水道水だけでなく農業用水、土壌も含めたPFAS汚染に関する今後の取組は

答 農業用水や土壌などについては、具体的な影響の有無等は明らかになっていない。河川や地下水などは、県や政令指定都市などが定期的な検査を実施しており、現時点では本市独自の取組の予定はない。
まずは、水道水の安全確保を最優先課題として検査を着実に実施し、国や県における調査研究の動向や、河川、地下水等の検査結果に関する情報を注視していく。





映像はこちら

ひとり親家庭の養育費確保支援の拡充を

まつざき ゆりこ
松崎 百合子

問 令和3年度全国ひとり親世帯等調査では、ひとり親世帯の9割が母子世帯であり、そのうちの86.3%が就労しているが、経済的に厳しい状況にある。本市のひとり親世帯の現状は

答 令和7年度の児童扶養手当現況届の対象者では、父子世帯は57世帯で平均所得額192万4041円、母子世帯は941世帯で128万3335円である。

問 本市における養育費の受取り状況は

答 令和6年の養育費受取世帯は232世帯であり、受取額の平均は年間50万401円である。

問 養育費確保支援事業の公正証書等作成支援事業とは

答 公正証書等の作成に要した費用を1回限り上限額3万円を補助するもの。令和6年度の利用実績は24件である。

問 子どもの成長過程で公正証書の再作成が必要になるが、回数制限を拡大する考えは

答 本事業は子どもの成長を支える有効な手段であると認識している。補助回数の拡充については今後調査研究する。

問 秋田県が実施する養育費請求弁護士費用等や、未払い養育費の強制執行申立て等に対する補助制度を本市でも導入できないか

答 今後国や県の動向を踏まえ調査研究していく。

問 養育費確保支援について市長の見解は

答 養育費は、子どもの生活や教育、医療費など、子どもが経済的、精神的に安定した環境の中で成長していくための基盤となる。子どもの権利を守るため養育費を確保できるよう支援することは重要であり、効果的な支援の在り方について考えていく。



映像はこちら

子どもの体験格差解消のために

かわの としお
河野 敏生

問 子どもの頃の多様な体験は、非認知能力（自己肯定感や想像力、困難を乗り越える力等）を育むために必要不可欠と言われている。

福岡市は「子ども習い事応援事業」として、生活保護世帯または児童扶養手当受給世帯等の小学5年生から中学3年生までの子どもの保護者などに電子クーポンを交付し、文化・スポーツ教室、学習塾等の習い事に係る費用を助成している。

千葉市では「アフタースクール」としてNPO法人等と連携し、放課後の小学校などを活用して質の高い体験プログラム（科学実験やアート、スポーツ、プログラミングなど）を全ての子どもに向けて提供している。

公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンは全国の18の自治体で、経済的に厳しい家庭の小学生に、スポーツや音楽・芸術活動のほか、体験活動で利用できる「奨学金スタディークーポン」を提供している。

大野城市の全ての子どもたちの体験格差解消のため、福岡市や千葉市のような取組ができないか。

答 体験格差には、格差の要因となる世帯経済の状況や、家庭環境や保護者の体験活動に対する意識、地域条件等があり、体験格差の解消には、これらの要因に応じた取組が必要であると考えている。

千葉市や福岡市の取組だけでなく、映画や博物館などの無料招待等、本市でまだ実施していない取組について検討する。





映像は「こちら」

子育て施策の拡充を目指して

はらだ まさみつ
原田 真光

問 こども誰でも通園制度の利用者数と利用時間は
答 令和8年3月の利用者数は67人、利用時間数は468.5時間である。

問 現状での課題は

答 実際に利用している児童の割合が約5%程度にとどまっていること、また、利用者数が少ないことにより、事業の安定的な運営に影響を及ぼす可能性があることが課題である。引き続き、制度の周知等に取り組み、事業運営上の見直しや改善が必要な場合には、実施施設と随時協議を行いながら対応していく。

問 こども誰でも通園制度の利用可能時間を月10時間から40時間へと拡充すべきだと考えるがいかがか

答 市独自での拡充には、多くの課題がある。制度変更後の利用状況や、通常の保育における待機状況、国の動向等を的確に把握し、適切な対応策を検討していく。

問 ランドセルクラブ支援員の処遇・待遇の改善策は
答 物価高騰を加味した契約を行うとともに、支援員の待遇改善策として、受託事業者に対して処遇改善事業補助金を交付している。また、受託事業者においても、時給の引上げや契約社員を増員するなど、支援員の待遇改善に取り組んでいる。

問 ランドセルクラブの利用料金の今後の在り方は

答 各種サービスに対する受益者負担の在り方について、状況に応じた見直しが必要である。ランドセルクラブの適正な受益者負担の在り方についても、事業の経費や性質などを総合的に勘案し、適時適切に検討していく。



AIによるイメージ画像



映像は「こちら」

高架下及び駅周辺の整備の進捗

い ふく だいすけ
井 福 大 昌

問 高架下及び駅周辺における未就学児の遊び場・託児所の整備状況は

答 未就学児の遊び場については、筑紫中央高校前の複合型交流施設内に、親子で交流できるキッズスペースの設置を進めており、託児施設については、西鉄や民間事業者等による整備を促している。

問 ドッグランの整備状況は

答 西鉄や民間事業者等による整備を促している。

問 大野城市で出店したい人たちのためのチャレンジショップ等の整備状況は

答 西鉄下大利駅北側駐輪場の1階に設置するよう準備を進めている。



大屋根及び複合施設イメージ図

問 市域を越えたバスなどの公共交通の広域連携の推進状況は

答 コミュニティバスは令和8年4月から福岡市の西鉄桜並木駅へ、令和9年度には春日市の西鉄春日原駅へ乗り入れを行い、近隣市との連携を図っている。

問 未来都市にふさわしい防災と景観のための電線地中化の進捗状況は

答 西鉄白木原駅から西鉄下大利駅間の東側で整備を進めている白木原下大利線、(延長810メートル)において電線の地中化を進めており、令和9年度に完了予定である。

問 中東情勢によりダメージを被っている事業者を救うための施策は

答 資金繰り支援として、大野城市中小企業融資制度のほか、福岡県の緊急経済対策資金やセーフティーネット保証などを積極的に周知し、流通の目詰まり解消については、国や県に対して他の自治体と協調して要望を行っていく。



映像は「まちら

いつまでもいきいき暮らせるしくみを！

なかむら しんいちろう
中村 慎一郎



問 シニアクラブ及びシルバー人材センターに関連する施策の課題は

答 シニアクラブの課題は社会的な変化により、会員数が減少傾向にあること、シルバー人材センターの課題は、会員数は徐々に増えてはいるものの、定年延長などの影響により、平均年齢が上昇傾向にあることである。

問 シニアクラブによる友愛訪問、会員外の高齢者との交流の促進、LINEを活用した情報支援など、地域包括支援センターや民生委員との連携活動に、より一層協力することは検討できないか

答 昨年度からInstagramを活用した広報活動を開始し、シニアクラブの活動や魅力をPRする取組を進めている。より一層連携した友愛訪問活動などの充実に向けて支援していく。

問 今後の高齢者支援施策の中で、シルバー人材センターをどのように活用していくか

答 高齢者の就業や活躍機会の増大だけでなく、健康づくりや介護予防にも大きな役割を果たしており、会員の高齢化に対応した運営や、会員増加などの課題解決に向けて、必要な支援を引き続き実施していく。

問 高齢者生きがい創造センターの活用も含めて、課題に対処する方針は

答 今後は、高齢者生きがい創造センターを高齢者の健康増進や生きがいづくりをはじめ、多世代との交流や親睦の場として活用するなど、高齢者の多様なニーズに対応できる施設として運用できるように進めていく。



議会の宣言を紹介します！ vol.2

「節水都市宣言」に関する決議

水は生命の根源であり動植物の生存上欠くことができない貴重な資源である。

私たちにあって水は、天が与えてくれた恵みであり、生活の一部であった。蛇口を捻れば何時でも必要なときに必要なだけ出てくる為に、水は無尽蔵にあるものと錯覚しがちである。

しかし、水は限りある資源である。

水道の高普及時代を迎え、水道が国民生活を支える基盤となった今日、水道水源の不足は社会問題となってきた。

大野城市においても、人口の増加、生活水準の向上による水使用機器の普及、水道普及率の向上、第3次産業の活動の増大等、水需要は年々増加しているが、それに伴う水源の確保は思うに任せぬ状況にあるといえる。

しかし、行政は市民に安全で良質な水を安定的に供給する為に長期的、広域的に水源の確保と水源の保全涵養に鋭意努力し続けていかなければならない。

また、市民の日常での節水意識の浸透、節水型水使用機器の普及、雨水や井戸水の利用等、水使用の合理化の促進が急務である。

大野城市が、人・街・緑が調和、共生するコミュニティ都市を目指す為に、行政と市民、事業所が一体となって節水意識の高揚をはかると共に、水の適性かつ合理的な使用に不断の努力を行い、ここに本市を「節水都市」とすることを宣言する。

以上、決議する

水を大切に
するじょー！



大野城市PRキャラクター
大野ジョー

平成7年12月20日 大野城市議会

今後の学校給食のあり方に関する 調査特別委員会

令和8年6月定例会において中間報告を行いました。

委員会の経過

- **4月8日**
小中学校の現地調査の結果について整理し、各委員による意見交換
- **4月20日**
現在の給食制度における課題を整理
- **5月18日**
視察及び課題整理を踏まえて各委員が現行の給食制度に対して意見
- **6月1日**
中間報告書を委員会で決定
- **6月19日**
今後の委員会の活動について協議



委員からの意見▶

委員会としての方向性

- ◆ 小学校給食は、現在の「**全員制給食を維持すること**」が望ましい
- ◆ 中学校給食は、現在の選択制給食から「**全員制給食への移行**」が望ましい

全員制給食への移行が望ましい理由

- すべての生徒に栄養バランスの取れた食事を安定的に提供できること。
- 生徒の欠食を防ぐための環境を整えることができること。
- 食育推進において統一的な指導が可能となること。
- すべての児童生徒が公平に給食を食べられる環境が整うこと。

今後の委員会について

本市の子どもたちが安心して食事を楽しめる環境整備を進めるため、引き続き、学校給食法の主旨に基づいた学校給食のあり方について調査を進めていく。

今後、最終報告に向けて議会として調査研究を進めていきます。

これまでの特別委員会の会議の内容、
中間報告書は大野城市議会ホームページ
「特別委員会」（右の二次元コード）から
確認することができます。



特別委員会 ▶



中間報告書
PDF ▶



全国市議会議長会表彰受賞

大野城市議会



山上 高昭 議員

松田 美由紀 議員

第102回全国市議会議長会定期総会において、
山上議員、松田議員が議員在職15年の表彰を受賞しました。



議場見学会



議場を自由に見学いただけます。

ぜひ、市議会を
身近に感じてください。

日時 11月7日(土) 正午～午後2時
(まどかフェスティバル開催日)

場所 市役所本館4階 議場

議長席や市長席での写真撮影OK!



令和7年度開催時の様子



作品紹介

イラスト



(白木原 ミドリさん)



(中央 濱野良子さん)



(中央 濱野良子さん)

短歌

- 初経験十六歳が田植機に 隣人なればわれも見にゆく
- 田植待つ水田にガマの声高く 四王寺山の峰緑きらめく
- この里の風が好きだというように 何度も巡る初燕なり

(若草 高名 穂さん)

- おとがな台へ歩いてようこそありがとう天泣光る坂のまち夏
- いつも立つ乙金台中央公園展望所たたくねんと四王寺山見る
- 見落とさず渡る信号「九十路」知足感謝も抱いて歩く

(乙金台 泉 満夫さん)

- さわやかな 五月の風と バラの花 手折り頂き 喜び倍に
- 足もとの 小さき花が 目に映る 紡ぐ言葉の シャワー浴びせ

(つじヶ丘 松野直美さん)

- 新緑の 心地良い風 あじさいが つぼみを付けて 自然に感謝
- 炭鉾節 月が出た出た 盆踊り 若いあり日の 太鼓の音が

(白木原 ミドリさん)

- 川の水 流れ清く澄み ひんやりと 遠い昔の 夏の遊び場
- 囲む膳 何は無くとも 皆揃い 笑顔馳走で 有難き日々

(乙金台 小野敬子さん)

川柳

- ところてん 毎朝食べて おきゅうとしつと
- ハルとサク呼び間違える犬と孫
- 孫の手を見つけ孫言うカーキカーキ
- カモの群れいろんな図形教えてる

(大城 山田子さん)

- 果物たくさん今日は命日だったのか
- 指定席可愛いおばちゃん隣
- 僕の夢彼方へ飛んでいっちゃった

(乙金台 泉 満夫さん)

俳句

- 笹の香の匂ひ広がる粽かな
- 能役者どんと舞台を初夏の舞
- ふる里を偲ふこころや花ざくろ

(牛頭 西山光教さん)

- 森の朝露の光に包まれて
- 草いきれ草刈り鎌とグローブと

(乙金台 泉 満夫さん)

- 暮なずむ 遊び足らずの 子ら無心
- 芽吹きにて 我を動かす 季きたり
- はる椿 出雲の地へと 二度まいり

(つじヶ丘 松野直美さん)

作品掲載希望者募集

- 募集作品
 - ・俳句・川柳・短歌・写真・イラスト など
- 応募方法 住所、氏名、電話番号を記入して、議会議務局「議会だより作品募集」係へ郵送または直接窓口へ 〒816-8510 大野城市曙町二丁目2番1号 Tel. 580-1938

みなさんからいただいた作品をそのまま紹介します。今回は4月～6月に募集した作品です。

- 注意事項
 - ・未発表のものに限りです(新カナ、旧カナは問いません。)
 - ・人物の写真については、掲載の了解を得てください。
 - ・提出された作品は、返却しません。
 - ・ペンネームでも可とします。
 - ・応募多数の場合は広報委員会が厳選して決定します。あらかじめご了承ください。

応募締切
11月15日号
掲載は
9月18日
まで

小・中学生からの応募もお待ちしております

あんてな

81年前の1945年8月15日、太平洋戦争が終わりました。この戦争で亡くなった方は約310万人。亡くなった方を悲しんでであろう恋人、妻、夫、子ども、母、父、祖母、祖父…。亡くなった方お一人につき3～4人が悲しまれたとして計算してみましょう。310万人×3～4人＝1000万人以上。当時の日本の人口7200万人のうち、1000万人以上の人たちの悲しみが、この国に溢れたのです。愛する者を亡くした悲しみは、10年経っても20年経ってもいや、81年経っても癒えることはありません。その悲しみが、巡ってくるのが8月15日なのです。(河野 敏生)

広報委員会

委員長	河村 康一	之朗也
副委員長	中村 慎一	一子生
委員	森中 和真	恭敏
委員	中村 利	
委員	永河 利	
委員	河野 敏	